

第二期中期目標期間終了時の業務実績の概要について (公立大学法人青森県立保健大学)

第二期中期目標期間終了時においては、「中期計画を上回って実施している」S評価又は「中期計画を十分に実施している」A評価が52項目(96.3%)であり、全体的な状況としては、中期計画を順調に実施することができたと自己評価している。

大項目	小項目の 自己評価結果		「S」と判断した業務実績の内容
1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(教育)	S	5	<p>・「No.5 健康科学部共通教育の展開」<14ページ> チーム医療教育の重要性が高まっている中、本学の取組が大学協議会で紹介されるなど、特色ある実習教育としての評価が高く、学生の満足度及び連携力獲得の客観評価も高いこと、また、キャリア教育は専門教育と連携しながら、幅広く密度の濃い教育ができていて、第5次カリキュラムでも、専門教育に十分な教育時間が必要な中、ヘルスリテラシー科目群として4学科合同で学ぶ教育を確保し、地域で行う連携教育の内容の充実ができたことを評価した。</p> <p>・「No.6 専門教育の推進(看護学科)」<15ページ> 国家試験合格率と就職率が高く維持され、さらに、看護学科専門教育の推進の各項目において、社会的に認められた妥当な教育を行っていることに加え、正課外教育を含め、中期目標達成のために多くの取り組みを実施し、成果を挙げたことを評価いたしました。</p> <p>・「No.8 専門教育の推進(社会福祉学科)」<17ページ> 国家試験合格率と就職率が高く維持され、さらに、臨床指導者の育成に貢献し、青森県の社会福祉教育の向上に寄与できたことを評価いたしました。</p> <p>・「No.9 専門教育の推進(栄養学科)」<18ページ> 国家試験合格率と就職率が高く維持され、さらに、食品衛生管理者の養成施設として登録する等、学生の教育の質向上のみならず、将来のキャリアアップの可能性を広げることができたことを評価いたしました。</p> <p>・「No.12 新カリキュラムの構築」<22ページ> 新カリキュラムの策定により、保健医療及び福祉の将来を見据えた教育内容とすることができ、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、単位の実質化に取り組み、改善することができ、「教育の内部質保証」については、昨今の大学認証評価においても、その重要性がクローズアップされているところであり、いち早く全学的に取り組み、実現することができ、その過程で全学的議論が行われたことで、カリキュラム・ディベロップメントが根付き、学科への広がり生まれたことを評価した。</p>
	A	18	
	B	1	
	計	24	
2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(研究)	S	0	
	A	4	
	B	0	
	計	4	
3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画(地域貢献)	S	0	
	A	6	
	B	0	
	計	6	
4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	S	0	
	A	6	
	B	0	
	計	6	
5 財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	S	0	
	A	5	
	B	1	
	計	6	
6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	S	0	
	A	4	
	B	0	
	計	4	
7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	S	0	
	A	4	
	B	0	
	計	4	